



滋賀大学大学院 経済学研究科 説明会

令和 9 年度

はじめに

- 大学院は、大学などで学んだ分野について、さらに**専門的な教育研究**を行う学校です。
 - 日本の大学院には、5年一貫制の博士課程、前期・後期にわかれた区分制の博士課程、専門職大学院など、多様な課程があります。
- 滋賀大学経済学研究科は、前期2年、後期3年の区分制の博士課程です。
- 本日は、前期課程の3つの専攻と後期課程の**特色や理念、入試の種類、受験で選択できる科目、入試の日程**などを紹介する予定です。

経済学研究科の特色

- 経済学・経営学・経営分析学の3専攻による多様な学び
- 理論と実務の融合をめざす実践的教育（経済・経営×データサイエンス）
- 文理融合・国際連携・現場体験を支える新プログラム（ビジネス・インサイト養成プログラム）
- 社会人・留学生にも対応した柔軟な制度設計と支援体制
- 長期履修・授業料免除など，多様な学修環境の整備

大学院経済学研究科

- 各課程で必要な単位を修得し，学位論文を提出
- 取得可能な学位

博士前期課程	博士後期課程
経済学専攻【修士（経済学）】	経済経営リスク専攻 【博士（経済学又は経営学）】
経営学専攻【修士（経営学）】	
経営分析学専攻【修士（経営分析学）】	

* 長期履修制度：職業や家事・育児・介護などの事情により修業年限を超えて一定期間での履修が可能な制度
（前期課程）2年→4年まで （後期課程）3年→6年まで

博士前期課程

豊富なスタッフが支える多様な教育プログラム！

- 経済学，経営学，経営分析学の3専攻
- ビジネス・データサイエンス専修プログラム（1年制社会人コース）
- データサイエンス副専攻
- ビジネス・インサイト養成プログラム

多彩なサポート！

- 入学前学習プログラム
- 長期履修学生制度
- 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度
- 外国人留学生に対する日本語関連講義

沿革

- 1973年度 大学院の新設 (**経済学専攻・経営学専攻**)
- 2001年度 **グローバル・ファイナンス専攻**の新設
- 2002年度 野村総合研究所 (我が国最大のシンク・タンク)との連携大学院を設置
- 2003年度 **博士後期課程経済経営リスク専攻**の新設
- 2019年度 **データサイエンス副専攻**を設置
- 2022年度 **ビジネス・データサイエンス専修プログラム**設置
- 2024年度 **経営分析学専攻**を新設
(グローバル・ファイナンス専攻の募集を停止)
- 2025年度 **ビジネス・インサイト養成プログラム**設置

教育体制を整備・充実

博士前期の授業科目区分

- 「基礎科目」：経済学部の特門科目
- 「展開科目」：専攻により対象科目が異なります
博士後期（リスク基礎分野）との共通科目と、学部との共通科目があります。
- 「連携実践科目」
- 「演習科目」
- DS科目：データサイエンス研究科の科目

連携実践科目と演習科目

■ 連携実践科目

シンクタンクや経済経営研究所などとの連携科目及び実践的応用力や実務能力を体験的に修得する科目など。

「経営・コンサルティング特別講座Ⅰ・Ⅱ」（野村総合研究所）

「グローバル・ビジネス概論Ⅰ・Ⅱ」（野村総合研究所）

「ワークショップⅠ～Ⅳ，Ⅴ～Ⅷ」（本学経済経営研究所，本学データサイエンス・AIイノベーションセンター） 他

■ 演習科目

研究指導教員（一部の科目は副研究指導教員）が担当する主に学位論文作成に関する科目。

各専攻・プログラムの紹介

経済学専攻

経営学専攻

経営分析学専攻

ビジネス・インサイト養成プログラム

ビジネス・データサイエンス
専修プログラム（1年制）

データサイエンス副専攻

データサイエンス
研究科と特に連携

経済学専攻

- 理論，歴史，政策，制度などの観点から現代の経済・社会システムに関する諸分野で構成されています。
- 現代の複雑な経済・社会システムに関する理論・歴史・政策・制度等を対象とし，高度な専門知識の修得と応用力の育成を目指しています。
- 専門科目の学修を通じて，行政機関や地方自治体，国際機関，シンクタンク等において，社会制度や政策を構想・評価し，課題解決に向けた提言につなげる力を備えた高度専門職業人の育成を目指しています。

経営学専攻

- 現代の企業等が抱える経営課題に対応し，経営分野，会計分野及び社会システムに関する分野で構成されています。
- ビジネスの主要分野についての専門的知識を包括的に提供します。さらに，歴史的な視点をも培いながら，ビジネスにおける実務課題に対応するための分析力・構想力・応用力の育成を目指しています。
- 専門科目の学修を通じて，組織の経営における経営企画，経理，財務，マーケティングなどの領域で創造的に活躍できる専門職業人の育成を目指しています。

経営分析学専攻

- 文理融合，理論と実証の統合を重視し，経済分野，経営分野，およびAI・数理データサイエンス分野で構成されています。
- 経営データ分析に必要な経営学，会計学，統計学，計量経済学の知識に基づいて，複雑なビジネス課題に対しデータを用いて分析し，意思決定する力の育成を目指しています。
- 専門科目の学修を通じて，経営企画，財務・経理部門，マーケティング部門，人事部などの現場でデータと意思決定をつなぐ，業務改革や意思決定支援を担う中核人材の育成を目指しています。

ビジネス・データサイエンス専修プログラム

- **1年間の集中的な学習で修了可能**な社会人のための「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」（6名程度）を設定しています。
- **経済学専攻及び経営学専攻の社会人入試において、一般社会人および派遣社会人が対象となります。**出願資格として、**3年以上の実務経験**が加わります。
- 現実の課題に対して、実際のデータを活用したデータ分析などをおこない、意思決定につなぐ手法を学びます。各専攻の専門科目等に加え、データサイエンス研究科の教員が担当する開講科目も履修します。
- 統計検定2級程度の知識があると、よりスムーズに学修を進められます。

データサイエンス副専攻

- この副専攻は、経済学研究科博士前期課程の**経済学専攻及び経営学専攻の学生**がデータサイエンス研究科開講科目を履修することなどによって所定の要件を満たし、**データサイエンス副専攻の修了認定**を受けることができます。
- 経済学研究科開講の授業科目（データサイエンス副専攻基礎科目）の履修やeラーニングの受講により基礎的な知見を備えた上で、データサイエンス研究科開講科目を履修し、高度なデータ処理能力やデータ分析力を養成していきます。

ビジネス・インサイト養成プログラム

経済学研究科の課題

- ①教育研究が机上・研究室内で完結する
- ②国際感覚・現場感覚・ビジネス感覚の不足



- ① 人文・社会科学（アーツ）方法論
- ② 国際連携実践教育

国際実践連携科目群
(シリコンバレー, 台湾研修)



人文・社会科学方法論科目群



英語による講義科目群



・ビジネス・インサイト向上
・ビジネス感覚(国際＋現場)

求める学生像

いずれかの専門分野において学士課程を卒業した者（見込含む）又はそれと同等以上の学力のある方で

- 経済学研究科で学ぶために必要な知識，論理的思考力と表現力，コミュニケーション能力を備えた方
- 経済学，経営学，あるいは経営分析学における知の探究と創造に意欲と能力を有する方
- 国際社会・地域社会の課題の発見とその解決に主体的に取り組み，高度専門職業人としての成長を目指す方

博士後期課程

リスク・リサーチを養成！

- 経済学，経営学，経営分析学の3専攻リスクに精通し，リスクを適切に管理し，リスクをふまえて新たな事業を創出できる

多彩なサポート！

- 長期履修学生制度
- オーダーメイド型履修制度により社会人も学びやすい環境
- 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除制度

博士後期課程の沿革と特色

沿革

- 2003年
- 滋賀大学大学院経済学研究科
博士後期課程

経済経営リスク専攻設置

- 国立の社会科学系大学院で
「**リスク**」を研究対象とした唯一
の大学院

特色

- リスクの幅広い把握
 - **金融・経営・経済**
- 学際的な母体
 - **経済学部**

教育理念と目的

リスクに精通し、
リスクを適切に管理し、
リスクをふまえて新たな事業を
創出できる

**「リスク・リサーチャー」
の養成を目的とする**

■ グローバル・スペシャリストの養成

国際的な視野を持ち、環境に配慮しつつ、
地域社会にも貢献できる、個性ある専門職業人

■ その資質として3つの「識」を養う

問題意識，専門知識，規範意識

求める学生像

- 大学等の**研究機関**でリスク研究者を目指す人
- **銀行や証券会社**の財務や国際金融担当者
- **企業**に於けるリスク管理部門，新規事業部門の従事者
- **自治体**における財政企画政策部門の従事者
- **リスクや起業関連の資格**を持ち事業を営んでいる人
(証券アナリスト，経営コンサルタント，弁護士，司法書士，公認会計士，税理士等)
- 経済開発リスクに取り組む海外政府機関からの**留学生**

教育研究分野

経済活動に伴って生じるリスクのうち、経済リスク、経営リスクに研究領域を設定し、その教育研究分野は「リスク基礎」及び「リスク発展」から構成されます。

リスク基礎	経済・経営におけるリスク発生の可能性とその分析手法等、リスクに関連する基礎的な理論、分析手法及びリスクと経済倫理の関係について教育研究します。
リスク発展	リスク理論やリスク管理手法をふまえて、積極的にリスクを取りつつ、企業を創造し、産業を創造し、地域を創造する環境整備について教育研究します。

経済学研究科の専攻分野

博士前期課程		博士後期課程	
経済学専攻	修士（経済学）	経済経営リスク 専攻	博士（経済学） 博士（経営学）
経営学専攻	修士（経営学）		
経営分析学専攻	修士（経営分析学）		

募集人員（夏季・冬季合計）

	専攻	令和 9 年度
博士前期課程	経済学専攻	13
	経営学専攻	13
	経営分析学専攻	6
	（合計）	32
博士後期課程	経済経営リスク専攻	3

夏季募集日程（博士前期課程）

選抜種別	出願期間	試験日程
一般入試	令和 8 年8月20日（木） ～8月26日（水）	令和 8 年9月10日 （木）
推薦入試		
社会人入試		
（一般社会人）		
（熟年社会人）		
（派遣社会人）		
外国人留学生入試		

社会人入試（一般・派遣）では，経済学専攻・経営学専攻の受験者から
ビジネス・データサイエンス専修プログラム受講者を 6 名程度募集

選抜方法

選抜種別	選抜方法
一般入試	筆記試験 2 科目 + 口述試験
推薦入試	口述試験
社会人入試	
(一般社会人)	筆記試験 1 科目 + 口述試験
(熟年社会人)	小論文 + 口述試験
(派遣社会人)	口述試験 (オンライン)
外国人留学生入試	筆記試験 1 科目 + 口述試験

1. 一般入試 9月10日（木）

出願時に6科目から **2科目** を選択

外部試験の利用：
「統計学」選択→
「統計検定」を利用
「英語」選択→
「TOEIC」を利用

科目の選択

「統計学」「英語」以外から2科目選択者
9時30分～11時00分
11時10分～12時40分

「統計学」「英語」以外から1科目選択者(当日受験1科目)
9時30分～11時00分

筆記試験時間

提出された研究計画書を中心に、希望研究分野に関して口頭試問

14時00分～

口述試験

専攻	出題科目	試験の方法
経済学専攻 経営学専攻	理論経済学	本学で筆記試験実施
	政治経済学	
	経営学総論	
	財務会計	
	英語	「TOEIC L&R」を利用
	統計学	「統計検定」を利用

専攻	出題科目	試験の方法
経営分析学専攻	理論経済学	本学で筆記試験実施
	政治経済学	
	経営学総論	
	財務会計	
	英語	「TOEIC L&R」を利用
	統計学（必須）	「統計検定」を利用

1. 一般入試 出願時の注意

- 「英語」は、TOEICのスコアを利用
- 「統計学」は、統計検定の成績を利用
- 「統計学」「英語」を含まない2科目を選択する場合、出願時に解答する順序を指定してください（試験当日に受験科目及び解答順序を変更することは不可）

1. 一般入試 出願時の注意

□ 経済学専攻・経営学専攻の志願者で「統計学」を選択した場合
出願時に提出

- ・ 統計検定 2 級の試験結果レポートまたは試験結果証明書
- ・ 準 1 級又は 1 級（統計数理もしくは統計応用のいずれか）の合格証原本（合格している場合）

□ 経営分析学専攻の志願者

出願時に提出

- ・ 統計検定 2 級の試験結果レポートまたは試験結果証明書
- ・ 準 1 級又は 1 級（統計数理もしくは統計応用のいずれか）の合格証原本（合格している場合）

2. 推薦入試 2つのタイプの推薦

	推薦者の要件	成績等の要件
A 推薦	演習指導教員または 関連分野の教員 1 名 が推薦する者	・ 3年次修了時点で100単位以上を修得し、うち60%以上をS（秀）またはA（優）が占めること ・ 大学3年次編入学者の場合： 3年次修了時点において認定単位を含めて100単位以上を修得しており、3年次取得単位数が40単位以上、かつ3年次取得単位数の60%以上がS（秀）、A（優）を占める者

2. 推薦入試 2つのタイプの推薦

	推薦者の要件	成績等の要件
B 推薦	演習指導教員または 関連分野の教員 2 名 が推薦する者	・ 大学院での研究を進める上で特に優れた資質を有する者 （例えば、懸賞論文等に入選した者、大学院で専攻する分野に関する科目に関して優れた成績を修めた者、着想力・論理的思考能力・分析能力・表現力において特に優れた能力を有する者など）

2. 推薦入試 9月10日（木）

A 推薦・B 推薦ともに

- ・学部での研究内容と志望理由を論述したエッセイ（小論文）
- ・本研究科での研究計画をまとめた研究計画書
- ・評価・推薦書

B推薦の場合：

優れた研究資質をもつことを証明する書類

小論文と研究計画書の提出

提出したエッセイ（小論文）と研究計画書を中心に，希望研究分野に関する口頭試問

10時00分～

口述試験

3. 社会人入試（一般社会人）

□ 出願資格

- ・ 令和9年4月1日現在，大学卒業後もしくは学士の学位取得後
1年以上社会人としての経験を有する者，または満25歳以上の者

□ ビジネス・データサイエンス専修プログラムへの出願

- ・ 経済学専攻または経営学専攻志願者のうちプログラム参加を希望する場合は，出願書類提出時に記入
- ・ 出願のための要件：
令和9年4月1日現在，大学卒業後もしくは学士の学位取得後 **3年
以上** 社会人としての経験を有する者

3. 社会人入試（一般社会人）

- 筆記試験（9月10日 9時30分～11時00分）

5 科目から 1 科目を選択（次スライド）

- 口述試験（9月10日 13時00分～）

提出された研究計画書を中心に，希望研究分野に関して口頭試問

3. 社会人入試（一般社会人）

専攻	出題科目	試験の方法
経済学専攻 経営学専攻 経営分析学専攻	理論経済学	本学で筆記試験実施
	政治経済学	
	経営学総論	
	財務会計	
	統計学	「統計検定」を利用

経営分析学専攻の志願者は、「統計学」以外の1科目を受験する場合でも、統計検定2級の試験結果レポートまたは試験結果証明書を提出
 準1級又は1級（統計数理もしくは統計応用のいずれか）に合格している場合は合格証原本を提出

4. 社会人入試（熟年社会人）

□ 出願資格

令和9年4月1日現在、満40歳以上である者

□ 経営分析学専攻への出願とビジネス・データサイエンス専修プログラムへの応募はできません

□ 筆記試験

出願時に提出された小論文「博士前期課程で研究したいテーマ」
をもってかえます

□ 口述試験（9月10日 9時30分～）

提出された小論文を中心として口頭試問

6. 社会人入試（派遣社会人）

□ 出願資格

- ・ 令和9年4月1日現在，大学卒業後もしくは学士の学位取得後
1年以上社会人としての経験を有する者，または満25歳以上の者
- ・ 出願時に事業所に勤務し，令和9年3月31日時点で1年以上勤務した事業所から派遣証明のある者

6. 社会人入試（派遣社会人）

□ 選抜方法

口述試験（オンライン面接）9月10日 10時00分～

□ ビジネス・データサイエンス専修プログラムへの出願

- ・ 経済学専攻または経営学専攻志願者のうちプログラム参加を希望する場合は、出願書類提出時に記入

- ・ 出願のための要件：

令和9年4月1日現在，大学卒業後もしくは学士の学位取得後

3年以上社会人としての経験を有する者，かつ，出願時に事業所に勤務し，その事業所から派遣証明のある者

7. 外国人留学生入試

□ 出願資格

次のいずれかを満たす者

- ①日本国籍をもたない者で，外国において，学校教育における16年の課程を修了し，経済学，経営学及び商学関係の学士相当の知識を有する（日本の大学を卒業または卒業見込みの者と日本の大学院を修了・修了見込みの者は出願できない）
- ② 本研究科が，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で令和9年4月1日現在22歳に達した者

7. 外国人留学生入試

□ 出願資格（続き）

②のケース：

3年制の専科大学を卒業したため、学校教育歴が16年に満たない場合であっても、大学研究生等で教育・研究歴がある場合は、資格審査を経て出願が認められる場合があります

👉 ②の出願資格で出願する場合は、出願資格の事前審査を行います。令和8年7月31日16時までに審査申請をしてください

7. 外国人留学生入試

□ 選抜方法

- ・ 筆記試験（9月10日 9時30分～11時00分）

5科目から1科目を選択（次スライド）

- ・ 口述試験（9月10日 13時00分～）

提出した「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭
試問

7. 外国人留学生入試

専攻	出題科目	試験の方法
経済学専攻 経営学専攻 経営分析学専攻	理論経済学	本学で筆記試験実施
	政治経済学	
	経営学総論	
	財務会計	
	統計学	「統計検定」を利用

経営分析学専攻の志願者は、「統計学」以外の1科目を受験する場合でも、統計検定2級の試験結果レポートまたは試験結果証明書を提出
 準1級又は1級（統計数理もしくは統計応用のいずれか）に合格している場合は合格証原本を提出

8. 特別制度・措置

□ 長期履修学生制度

- ・ 勤務等の理由で標準修業年限で修了することが困難な場合，標準年限（2年）を超えて一定期間（3～4年）で計画的に教育課程を修了し，学位を取得することができます
 - ☞ 長期履修学生となった場合，2年分の授業料総額を認められた修業年限で割った額を各年度に支払います
- ・ 外国人留学生の入試成績優秀者に対する授業料免除
入学試験成績が優秀な者に対して，入学年度1年間の授業料を免除

9. 出願のための注意事項と受験準備のために

□ 出願期間

令和8年8月20日（木）～8月26日（水）16時

□ 出願資格審査を希望する受験者は資格審査申請を忘れずに

申請期限：令和8年7月31日（金）16時

9. 出願のための注意事項と受験準備のために

□ 過去問の入手

ホーム > 入試情報 > 入試の詳細 > 経済学研究科 >

経済学研究科 博士前期課程 > 令和9年度経済学研究科博士

前期課程入試 > 関連情報 > [過去問題の資料請求](#)

□ 標準テキストの情報

ホーム > 入試情報 > 入試の詳細 > 経済学研究科 >

> 経済学研究科 博士前期課程 > 令和9年度経済学研究科博士

前期課程入試 > [標準参考文献リスト](#)

10. 後期博士課程入学試験：昨年度情報（参考）

□ 令和 9 年度募集要項は10月に公開予定です。参考として昨年度の概要は次の通りです。

- ・ 募集人員

一般志願者・派遣志願者 合計 3 名

- ・ 出願資格

修士の学位をもつ者（見込含む） またはそれに準ずる者

- ・ 出願期間

令和 7 年12月17日（水）～12月23日（火）

- ・ 入試日程

令和 8 年 1 月24日（土）

10. 後期博士課程入学試験：昨年度情報（参考）

	一般志願者	派遣志願者
論文審査	研究業績，審査用論文および研究計画書の内容等について審査	
口述試験	研究計画書と審査用論文にもとづいて口頭試験	
外部英語検定試験	TOEIC, TOEFL, IELTSの成績を利用	—
成績証明書等	修士課程成績証明書を提出	

11. さらに詳しく知りたい

□ 【公式】滋賀大学大学院経済学研究科のnote

note内を検索：滋賀大 大学院 令和9年度入試

□ 第2回の大学院入試説明会を開催します

日時： 令和8年10月3日（土）



note.com/shiga_u_grad_eco/n/n5a921f53ed0f

note

キーワードやクリエイターで検索

◀

【公式】滋賀大学
大学院経済学研...

滋賀大学大学院経済学研究科の公式noteです。経済学研究科の最新ニュース、大学院生や教職員のリアルな声を発信していきます！最新の情報、正式な情報は必ず公式HPにてご確認ください。公式HP: <https://www.eco.shiga-u.ac.jp/>

フォロー

Photo by baby_in_the_sky

◆ 大学院 – 令和9年度入試 –

♡ 1

【公式】滋賀大学大学院経済学研究科
2026年7月20日 18:00

滋賀大学経済学研究科の入学試験は夏（9月）と冬（1月）に実施されます。

出願書類（特に研究計画書）の作成には時間がかかりますので、早めに準備にとりかかるとおすすします。

▶ 令和9年度入学書向け大学院説明会